

シドニー会議 CISPR/B 対処方針案 (1/8)

資料 24-5

審議項目	審議内容	わが国の対応	審議結果
1. 開会	2007/9/24		
2. 議事次第の承認	文書：CISPR/B/436A/DA	・特にコメントなしで対応	
3. IEC 中央事務局からの連絡事項			
4. プレナリー会議の結果 4.1. ISO/IEC 指令 規格の中に複数の代替測定を規定している場合の“標準の方法またはサイト”の決定について	文書：CISPR/1145/DA Item 12. CISPR/1144/INF (INF 文書での提案内容) “If more than one adequate test method exists for a characteristic, only one shall in principle be the subject of a document. If, for any reason, more than one test method is to be standardized, either the referee (often called “reference”) method shall be identified in the document <u>or the intended (equal) validity shall be stated.</u> ” ・プレナリーの結果を受けて、SC-B の立場を決定する。	・プレナリーの結果の把握を行い、必要な対応を行う。	
5. スtockホルム会議議事録承認	文書：CISPR/B/409/RM	・特にコメントなしで対応	
6. WG 1、WG2 メンバーリストの確認	文書：	・状況により対応	
7. 審議アイテム WG1 (工業、科学及び医療用無線周波装置の妨害波の許容値及び測定法) 関連			
7.1. CISPR11 のメンテナンスサイクル	文書：CISPR/B/385/MCR CISPR/B/386/CD CISPR/B/396A/CC CISPR/B/399/CD CISPR/B/410A/CC ・第5版への FDIS 作業状況を確認する。	・左記の確認を行う。	
7.1.1. CISPR11 第5版 2nd CDV	文書：CISPR/B/418/CDV CISPR/B/432/RVC CISPR/B/435/CDV		

シドニー会議 CISPR/B 対処方針案 (2/8)

資料 24-5

審議項目	審議内容	わが国の対応	審議結果
	CISPR/B/438/INF CISPR/B/414/Q CISPR/B/425/RQ CISPR/B/431/INF ・ 1 st CDV が否決された理由を討議する。 ・ 2 nd CDV の投票結果を確認する。 ・ ITU の無線規則による ISM 機器にたいして 18GHz までの周波数に限定することを確認する。	・ 2 nd CDV を支持する立場で対応する。	
7.1.2. CISPR11 から法規制文言の削除を行い, CISPR11 第5版に導入条項と, 付表 E を加える	文書 : CISPR/B/416/CD CISPR/B/426A/CC CISPR/B/440/CDV ・ 投票状況の確認を行う。 ・ ITU からの回答があれば確認する。 ・ NC からのコメントに対する回答を WG1 に付託する。	・ 本提案の文書 (B/416/CD) を支持する立場でコメントを提出している。この立場で対応する。	
7.1.3. 測定距離をクラスによる変更から, サイズ (小さい機器を定義する) による変更についての CD	文書 : CISPR/B/420/DC CISPR/B/428A/INF CISPR/B/433/MCR CISPR/B/434/CD ・ B/434/CD (10月12日期限) の回付を確認する。 ・ NC からのコメントの解決を WG1 に課す。 ・ 3m測定距離を導入することによる技術面, 及び非技術面のインパクト (得失) の討議を行う。 ・ 3m測定距離を使用する条件の討議を行う。 (参考) 「小さい機器」の定義 Small equipment: Small equipment is equipment, either	・ B/434/CD を支持する立場で対応するが、次の点についての情報を把握する。 (1) 卓上タイプの「小さい機器」の定義の機器の高さ 1.5m に、試験台の高さを含めるべきか否か。 (2) 3m の距離での測定を可能にする「小さい機器」の定義に当てはまる機器に対しても、近傍界の影響の確認あるいは、注意を払うべきか否か。	

シドニー会議 CISPR/B 対処方針案 (3/8)

資料 24-5

審議項目	審議内容	わが国の対応	審議結果
	positioned on a table top or standing on the floor, which is not more than 1,2 m in diameter and the height of which above the ground plane does not exceed 1,5 m, including its cables.		
7.1.4. CISPR11 の歴史と展開についての背景情報を附属書（情報）とする提案の DC	文書：CISPR/B/417/DC CISPR/B/427/INF CISPR/B/4xy/INF* ・ B/417/DCの完成度の評価を行う。 ・ B/417/DCの取扱，または代替の決定を行う。 ・ CISPR11の適用範囲の説明を行う。	・ DC に対して基本的には賛成のコメントを提出している。この立場で対応する。	
8. WG2 (架空送電線、高電圧機器と電気鉄道) 関連項目			
8.1. 系統連携インバータ機器	文書：CISPR/B/423/INF ・ 系統連携インバータ機器の測定方法と限度値の提案を確認する。 ・ IEC/CISPR 61000-6-3 との関係を討議する。 ・ 作業開始の適切なコースの決定を行う。	・ 製品委員会の動きも無い文書であるので、規格化作業推進の立場で対応する。 ・ 日本から次の意思表示を行う。 (1) 日本から NW 提案を準備している（提案内容を議長に事前送付する） (2) 提案の概要を翌日開催の WG2 で紹介する	
8.2. CISPR18 のメンテナンス	文書：CISPR/B/359/DC CISPR/B/393/INF CISPR/B/424/INF ・ 作業開始の討議を行う。	・ 作業開始推進の立場で対応する。	
9. 今後の作業			
9.1. CISPR11 第5版のメンテナンスサ	文書：CISPR/B/385/MCR		

シドニー会議 CISPR/B 対処方針案 (4/8)

資料 24-5

審議項目	審議内容	わが国の対応	審議結果
イクル (MC)	CISPR/B/435/CDV <ul style="list-style-type: none"> • CISPR11 第 5 版の次の MC の課題決定を行う。 • MC と新 MRD (maintenance result date) の time frame の決定を行う。 • B/435/CDV で提案されている MRD (2010 年) の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 状況を確認し、日本として対応の必要があれば、現地で対応する。 	
9.1.1. 現行の CISPR11 で規定している対数平均法の代替法としての APD 法の導入	文書 : CISPR/B/363/DC CISPR/B/373/INF CISPR/B/390/INF CISPR/B/402/DC CISPR/A/697/INF <ul style="list-style-type: none"> • 日本からの APD の紹介を行う。 (電子レンジでの限度値と適合判定の方法) • CISPR11 の次の MC での作業開始の決定を行う。 (適合判定試験の APD 法適用と APD 放射限度値の設定の指針) • CISPR/A への回答の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電子レンジの 1GHz 以上の測定と適合判定に対して APD 法を適用した場合の考え方とデータについてのプレゼンテーションを、WG1 東京会議 (5 月) にて行っている。この内容をブラッシュアップしたプレゼンテーションを行い、電子レンジからの 1GHz 以上の妨害波測定方法として採用している対数平均試験方法の代替試験法として、規格化作業開始の推進を図る。 • 日本提案に対しての各国の反応を把握する。 	
9.1.2. 周波数 9 kHz~400 GHz での RF 妨害波を抑制する限度値と CISPR11 が対象とする周波数範囲に関して、CISPR11 の完全さへの質問	文書 : CISPR/B/425/RQ 文書 : CISPR/B/414/Q CISPR/B/411/INF CISPR/B/404/DC <ul style="list-style-type: none"> • ITU 無線規則 (CISPR/B/414/Q, Q 2, 3を参照) に従い、ISM RF機器に対しての 18 GHz ~ 400 GHz での限度値設定作業の必要性について討議を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> • B/404/DC に対して、18GHz までで十分とする日本の意見を提出している。 • この立場で対応し、各国の状況の把握に努める。 	
9.1.3. 定格電流 1 相当たり 25A を超える	文書 : CISPR/B/362/DC		

シドニー会議 CISPR/B 対処方針案 (5/8)

資料 24-5

審議項目	審議内容	わが国の対応	審議結果
安定化制御装置に対するの負荷端子 限度値	CISPR/B/379/INF CISPR/B/410A/CC CISPR/B/4xy/INF* ・安定化制御装置の負荷端子への限度値を設定する作業を開始することの必要性についての討議を行う	・B/362/DC に対して、限度値の設定の必要性はない、との立場で日本の意見を提出している。 ・この立場で対応し、各国の状況の把握に努める。	
9.1.4. 400 MHz 未満で動作する ISM RF 機器に対して 1GHz を超える周波数で試験が必要になる条件 (CISPR/B/432/RVC, DE-17)	文書：CISPR/B/432/RVC ・この要求に対するの作業開始必要有無の討議を行う。 (参考) 現行 CISPR11 では、この対象機器に対して、“限度値は検討中”とし、Note にて具体的に試験が必要となる条件例を記載している。 関係箇所の現行CISPR11の原文を下記する。 “Group 2 ISM equipment a) ISM equipment operating at frequencies below 400 MHz Limits are under consideration. NOTE When finalized, these limits will be introduced together with the following conditional testing Clause. If, in the band from 400 MHz to 1 GHz, all emissions are below the class B limits and the fifth harmonic of the highest internally generated source is lower than 1 GHz (i.e. highest source <200 MHz), no testing above 1 GHz is required. “	・作業の開始には賛成する。但し、具体的な事例の調査が必要と思われる。各国の状況の把握に努める。	

シドニー会議 CISPR/B 対処方針案 (6/8)

資料 24-5

審議項目	審議内容	わが国の対応	審議結果
9.1.5. 床置き機器の 1 GHz を超える放射測定に対する CISPR 16 (自由空間) の規定	文書：CISPR/B/432/RVC CISPR/B/435/CDV CISPR/B/438/INF <ul style="list-style-type: none"> ・ CISPR11 第 5 版に対するの当面の解決策「床置き機器に対しては、大地面上で測定」を討議する。 ・ SC-B 自身による研究と調査について決定を行う。 ・ 今後の SC-A との共同作業についての討議 ・ 代替測定法に関して CISPR11 の内容評価一どのサイト, 測定方法をカバーしているか? ・ 代替サイトと測定法について, CISPR11 の対象を拡張する必要があるか? 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況の把握に努め, Ad-hoc の編成などの具体的な提案などがあれば, 状況により対応する。 	
9.1.6. 製品規格で使用するスペアナに関して	文書：CISPR/B/360/DC CISPR/B/377/INF CISPR/B4xy/INF* <ul style="list-style-type: none"> ・ WG1 からの推奨提案の審議を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況を見て対応する。 (WG1 からは、「SC-A の結果待ち」との報告のみで、推奨提案はない、との情報あり。) 	
9.1.7. 30 MHz までの周波数での磁界測定の一層の的確性 (Further qualification)	文書：なし <ul style="list-style-type: none"> ・ 当面の CISPR11 第 5 版への解決策審議 ・ ISM RF 機器への限度値と方法の適用範囲の決定にあたっての基準“動作周波数”について審議 ・ SC-B 独自の研究と調査について審議 ・ SC-A との今後の共同作業について審議 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議資料もなく, 情報が不十分である。状況の把握につとめ, 対応する。 	
9.2. IEC 製品委員会との共同作業	CISPR11 第 5 版の次の MC の課題の決定		
9.2.1. 電気メスの動作状態での試験配置	文書：CISPR/B/431/INF CISPR/B/432/RVC		

シドニー会議 CISPR/B 対処方針案 (7/8)

資料 24-5

審議項目	審議内容	わが国の対応	審議結果
	CISPR/B/4xy/DC* ・ SC-62D との共同作業について決定 (SC-62D の MT 17 から代表が参加予定)	・ SC-62D との共同作業を行うことに賛成の立場で対応し、状況の把握に努める。	
9.2.2. PDS 及び UPS からの RF 妨害に対するの限度値	文書：CISPR/B/431/INF CISPR/B/432/RVC CISPR/B/4xy/INF* ・ WG1 の ad hoc の報告書受領 ・ TC22 との共同作業について決定	・ 状況の把握に努め、対応する。	
9.2.3. TC26 との共同作業	文書：26/341/CDV 26/342/CDV CISPR/B/419/INF ・ 26/341/CDV, 及び 26/342/CDV についての最新のコメントの確認 ・ CISPR11 の次の MC での TC26 との共同作業とすべきアイテムの抽出	・ 状況の把握に努め、対応する。	
9.2.4. TC27 との共同作業	・ CISPR11 の次の MC での TC27 との共同作業とすべきアイテムの抽出	・ 状況の把握に努め、対応する。	
9.3. CISPR 14-1 の適用範囲への IH 調理器の移動	文書：CISPR/B/413/INF CISPR/B/430/INF ・ SC-F で回付された DC 文書 (CISPR/F/456/DC) の結果についての報告 ・ CISPR 14-1 での 30MHz 以上の周波数での IH 調理器の規定についての説明を行う。 (参考)	・ F グループの日本意見は、現行の CISPR11 と同じ測定方法と限度値を CISPR14-1 でも採用することである。 ・ 状況の把握に努める。	

シドニー会議 CISPR/B 対処方針案 (8/8)

資料 24-5

審議項目	審議内容	わが国の対応	審議結果
	30MHz～300MHz の周波数で CISPR11 では電界強度の測定であるが, SC-F の DC 文書では現行の CISPR14-1 の対象機器には雑音電力の測定を規定している, として, IH 調理器にも 雑音電力 による測定を提案している。		
10. IEC 中央事務局で記録されている CIS/B の作業プログラムの見直し	文書 : CISPR/B/439A/PW*	内容把握する。	
11. その他		議題があれば、内容把握し、対応する。	
12. 次回開催場所		大阪で開催することについての紹介を行う。	
13. 閉会			

SC/B : 9月24日 09:00 - 17:30

WG2 : 9月25日 09:00 - 12:30

WG1 : 9月25日 14:00 - 17:30